

事業所名

ありこる一む芦北 児童発達支援

## 支援プログラム

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念	こうらくえんの「幸」は、私たちも周りの人も幸せにすることを表します。こうらくえんの「楽」は、私たちが楽しく仕事をする事で周りも楽しくなることを表します。こうらくえんの「縁」は、私たちと縁のある人たちへの感謝を表します。よって、私たちは地域と共に成長するために子どもたちの可能性を信じ日々努力します。				
支援方針	【子どもと関わる】・子ども達の特性や個性を大切にします。・子ども達がいつも中心であると考えます。・子ども達の思いが輝くように心を込めて寄り添います。 【家族と関わる】・様々な家庭があるという事を理解し受け入れ家族との信頼関係を築いていきます。・家族に安心を与えられるように、常に情報を共有し家族との信頼関係を築いていきます。・家族の悩み相談には心から耳を傾け、気持ちに寄り添い家族との信頼関係を築いていきます。				
営業時間	9時	0分	12時	0分	まで 送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
年中児以下（個別課題+運動遊び+集団活動）			年長児（就学を見据えスクール形式での療育）		
本人支援	健康・生活	【健康状態の把握】来所時の検温・健康観察・連絡帳での体調や睡眠時間のチェックを行います。 【基本的な生活スキルの獲得】身の回りのことを自分で行います。「何をどこにどうするのか」視覚支援や環境設定により、自発的にできるようサポートします。 【排泄・着脱】排尿時間を保護者・園と共有し、成功体験が積めるようにします。着脱では、できることを増やし、自分で取り組めるよう、手を添え丁寧に伝えながら練習していきます。		【健康状態の把握】来所時の検温・健康観察・連絡帳での体調や睡眠時間のチェックを行います。 【基本的な生活スキルの獲得】身の回りのことを自分で行います。「何をどこにどうするのか」視覚支援や環境設定により、自発的にできるようサポートします。 【排泄】30分ごとの休み時間に自己決定して行くように声掛けします。排泄後の処理、身だしなみをチェックし、苦手なところは練習していきます。 【着脱】体操服への着替え、たたんで片付ける練習を行います。着脱の手順、たたみ方、約束事を視覚支援や環境設定を用いてわかりやすく伝えます。学校の休み時間を想定しタイマーを使用し、10分以内の取り組みを目指します。	
	運動・感覚	【粗大運動】ストレッチやサーキットを通して、揺れる、跳ぶ、もぐる、くぐる、またぐなどを体験し、バランス感覚やボディイメージを高めます。 【微細運動】一人一人の発達段階に応じて、その時期に必要なスキルを身につけられるよう、様々な道具を使って個別に支援していきます。指先の使い方、動かし方をチェックしていき、細かな力加減も習得できるよう、道具を工夫し繰り返し楽しく練習していきます。 【感触遊び】粘土、スライム、土遊びなど、様々な感触を体験します。つまむ、ちぎる、丸めるなど手指をしっかり使って遊びます。感覚が苦手な子には、道具などを工夫し、少しずつ感覚を受け入れられるよう支援します。 【姿勢】安定した姿勢で活動に取り組めるよう、椅子や机の高さを調整します。		【粗大運動】ストレッチやサーキットを通して、揺れる、跳ぶ、もぐる、くぐる、またぐなどを体験し、バランス感覚やボディイメージを高めます。「ジャンプしながらボールを投げる」など同時に複数の動作を取り入れ、楽しみながら複数のタスクに対応する力を育てます。 【微細運動】製作活動を通し、指先の操作や道具の使い方のチェックをし、細かな力加減も習得できるよう、手本を見せ支援します。箸、ハサミ、鉛筆など活動の中で楽しく体験していきます。利き手を定め、片方は補助や添え手として使えるようサポートします。 【感触遊び】粘土、スライム、土遊びなど、様々な感触を体験します。つまむ、ちぎる、丸めるなど手指をしっかり使って遊びます。感覚が苦手な子には、道具などを工夫し、少しずつ感覚を受け入れられるよう支援します。 【姿勢】安定した姿勢で活動に取り組めるよう、椅子や机の高さを調整します。	
	認知・行動	個々に合わせたスケジュールを使用し、見通しを持ち、自主的に切り替えや活動への参加ができるようにします。 個別課題で、形、色、物の名称などを物やカードを使って学び、小集団の活動の中でも活用しながら遊びを楽しみます。 ルール遊びでは、ルール通りに実際にやって見せ、勝ち負けなども目で見てわかるよう、視覚支援を行います。		小学校で使われる用語を用いたスケジュールを使用し、言葉と活動をマッチングさせていきます。「こくご」では、文字のマッチング、しりとり、ものカテゴリー分け、反対言葉、オノマトペかるた、間違い探し、名前や文字のなぞり書きを行います。「さんすう」ではルール遊びに数や数字を取り入れたり、点数を数えたりします。おはじきやカードを使い、視覚支援を取り入れ、数に慣れていきます。「ずこう」では製作や工作を行い、ボードに書かれた材料と手元の材料のマッチングをし、手順書と手本を見ながら作業を進めていきます。	
	言語コミュニケーション	挨拶、要求、ヘルプ、お礼など、場面に必要な言葉を模倣で促し、自発的な発信につなげていきます。 対大人から、子ども同士のやり取りにつながるよう、スタッフが間に入り言葉を促しながら支援します。 写真やイラストなどに言葉を添え理解しやすく、また指差しで表出するなど、「わかった」「伝わった」を経験できるようにやり取りを工夫します。 子どもの気持ちや思いに寄り添い、共感し、人とのやり取りの楽しさを味わえるようにします。		挨拶、要求、ヘルプ、お礼、報告など、場面に必要な言葉を促し、自発的な発信につなげていきます。特に、「手伝ってください」「わかりません」などのヘルプが出せるように、また「できました」と報告する、「トイレに行ってもいいですか」など尋ねるなど、学校生活で困らないように、「どんな時に、誰に、何と云うか」を練習していきます。 自由時間には、2人以上で成立する遊びを選択肢に入れ、友達と誘い合って遊べるようにします。相手にどのように言えば伝わるのか、経験を積んでいきます。 子どもの気持ちや思いに寄り添い、共感し、人とのやり取りの楽しさ、人に伝わった嬉しさを味わえるようにします。	
	人間関係社会性	お集まりに参加すること、着目できること、話を聞くことを目標に、成功体験が積めるよう、参加しやすくなるような楽しい雰囲気づくりを行います。 小集団でのルール遊びに参加し、順番待ちや、簡単なルールを守って参加できるよう「やってみよう」と思えるような活動を準備します。 友達と同じ空間で遊ぶ、おもちゃを共有する、貸し借りを体験することを意識して、他児とのやり取りを促していきます。		小集団での活動に参加すること、着目できること、話を聞くことを目標に、成功体験が積めるよう、参加しやすくなるような楽しい雰囲気づくりを行います。 ルール遊びでは、ルールや順番を守って参加し、友達を応援したり、協力したりして活動できるよう、声掛けやサポートをします。勝ち負けにこだわらず、少しずつ感情をコントロールし、最後まで取り組めるよう、悔しさを認め次に向かう気持ちに切り替えることの大切さを伝えていきます。	

<p>家族支援</p>	<p>【相談】子どもの困り、家族（両親、祖父母、きょうだい）の困りに対し、随時相談を受けます。  【親子療育】子どもの活動の様子を見たり、一緒に参加してもらいながら、できていることの確認、苦手なことへのサポートの仕方を一緒に考えていきます。また、保護者同士の交流の場として活用していただけます。</p>	<p>移行支援</p>	<p>療育でできていること、必要な支援方法を園と共有し、個別・小集団でできていることが園でもできるよう、支援の般化を目指します。  小学校入学に向け、学校見学時の情報共有、関係機関と連携を取り移行支援会議を行います。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>子どもが通う園との情報共有、支援方法や環境調整において会議の開催を行います。  関係機関（福祉・保健・教育・医療）との連携を行い、地域で安心して過ごせるよう支援します。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>スタッフの専門的な知識やスキル、支援の質の向上を高めるため、研修会等に参加します。（法人内研修・地域での研修・オンライン研修など）</p>
<p>主な行事等</p>	<p>季節の行事・製作：夏祭り・ハロウィン・クリスマス・お正月・節分など  保護者会：勉強会・交流会・茶話会など  定期的な訓練の実施：火災・地震・水害・不審者など</p>		